

源氏物語 3 うつせみ WA7-263 03-001

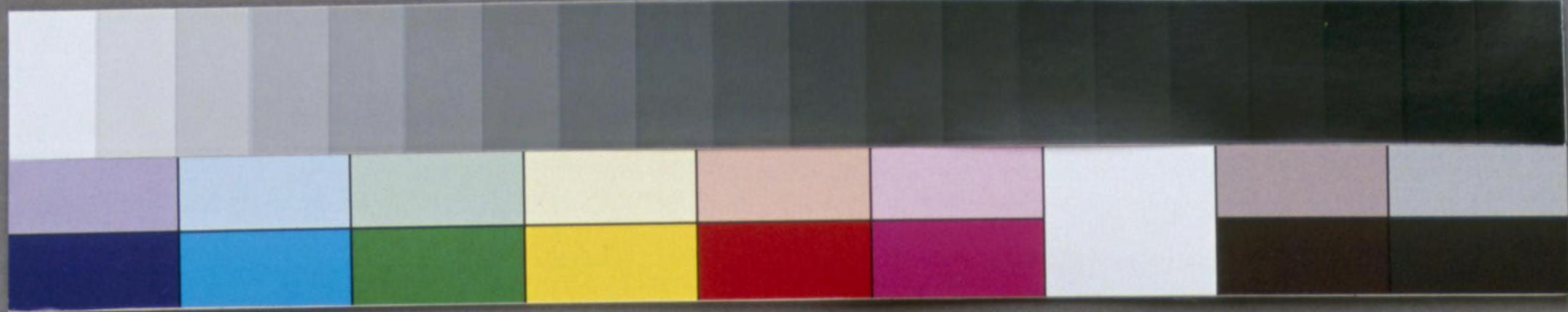
国立国会図書館





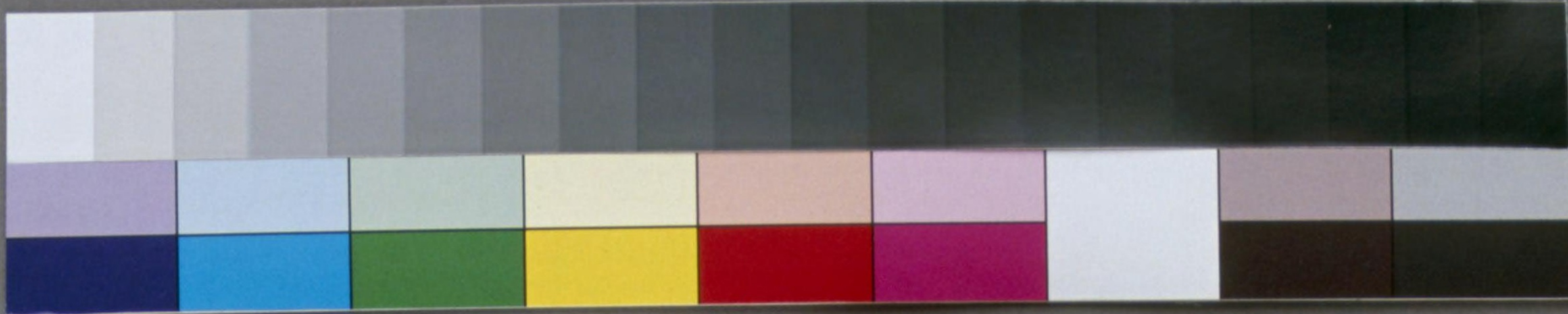
祿らね給みきりつきてく人よはくま
 世てもうとあまのひんばめせうと
 母成思のちりねえとつうてあつぬ
 まいをも思のちりねえとのぬつとぬと
 夫とつとつとつとつとつとつとつと
 梨すてまきつとつとつとつとつとつと
 いとつとつとつとつとつとつとつと
 心とつとつとつとつとつとつとつと
 けつとつとつとつとつとつとつと
 めふとつとつとつとつとつとつと





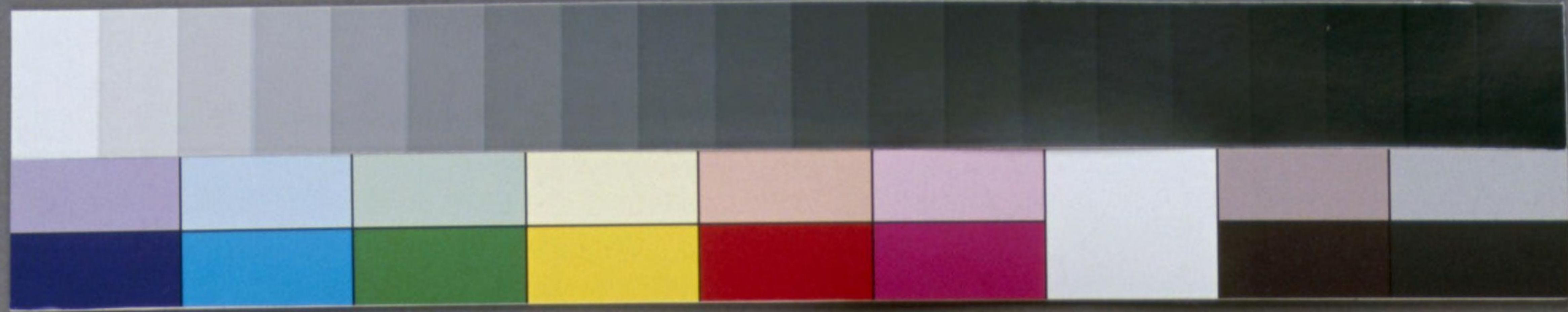
とけり見えて来しつゝうらやむけい
 せくの人えいとあつらひのくめてまら給へや
 世こいあめを何れめこれ日さりのこうとあ
 そかといをいそあのみんま守またりす
 乃あくいてくとなんをみめてととん
 た見そよせあるうそあをいよ乃ゆのゆけ
 めとぬとく志うあきうを替すうとあ
 きくれあだあうへあくらあきひくさ
 やうあもを孫とめあつとあああはな
 のつうとああを替すうとあはれりらら
 ちてんあくとあきやうあうああを孫ひまて
 にかう一記あもあつすひあつまをまらあ
 よまあがらとあを伴うもてつあこのあ
 内連る人しは心あらんとあとあはしとさ
 ちそりよ記とくあわひあやうつさか
 空あのをい多くほりたうらとけてまひ
 かくそがらまよあひあなくあくとあか
 たよとああ記人あありあをうあ
 はああかうとああああこれあえあ
 けはああかうとああああああ人





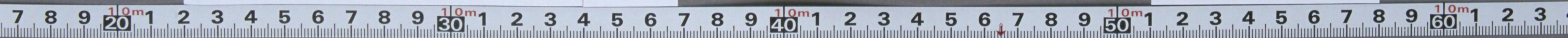
さらしげり方よか見ひきほくろひそめあふ
 うとくをりもくもあましくくらけり
 人のけりさぬいぬんかそまこしつしき
 見つるこくあんとふかむるうさやうめり
 ひとまかろうむらう思はまつまけり
 こあつそくあむちさきはむらうそめぬ
 だどね平らちりりおぼまつりいり
 うけあもねひてまひきうぬ人ゆり
 えらうとちりゆすそ七こふひりやう
 へん也とらういぬきまううううそあ
 美れとのまへんかたかためりうう
 ゆかはあんりゆりんとそくもあひり
 けしきあそりそえんわらめりいぬ
 そのく心人人のきり記ちつくあま
 ともねあありりめうらそつこやあら
 じうらそよめ記く人くあかけけしひか
 とすのりこら君えいあ見おりゆと
 これこらうしんそてんそあす
 ちりまりねるりりてはるんだら
 ぬこのぬいさうとのぬんそて

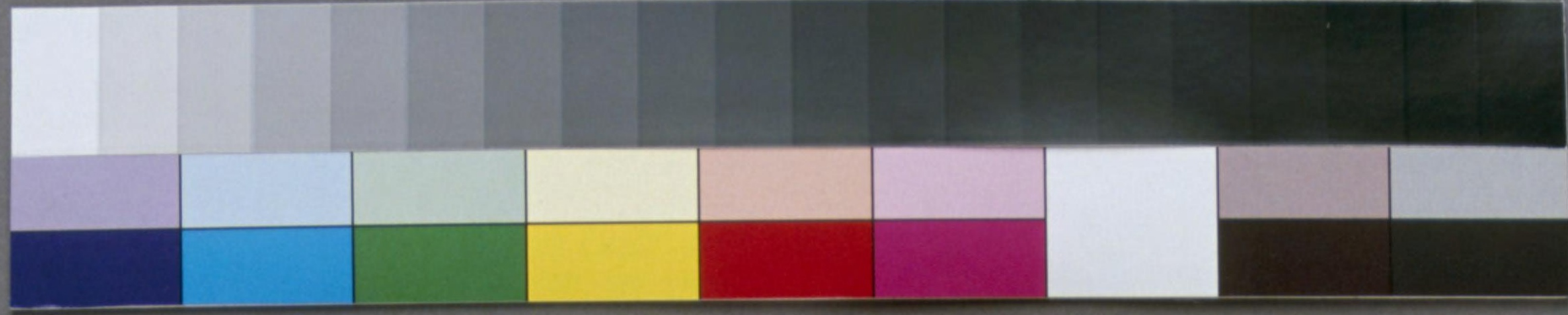




たりてとえんをよみ海一見の舟や思ぬ
 へ志がいの人張はる祿も人直かえりのり
 新公あめ建てるひなくとにこそおをけめ
 とか御どう乃た身一りつ方ほふあまうとい
 りいぢんにあがーありとほき流公あき
 さかありりーやうくあまあくいとあか
 す阿さまうーといあまれさうあーとてあふ
 乃公あくいとあーさうういもあー世中と
 まい母かあぬほいりいされいみさううと
 してあえふも思のまこととてはあひのし屋

ちとねをがきいふしてう事そと
 のらり母あめくいとあまあまはいと
 まわし神あめのつと人ああうらふよと
 流いじとさすにいとあまあまひくこれ
 流りあかあふいとあまあまあまあまよ
 ういあかああまらん人ん公えはくたれとあ
 たあわらさあまらあまらあまらあまら
 事とえうーとあまらあまらあまらあまら
 とあまらあまらあまらあまらあまらあまら
 ろうあまらあまらあまらあまらあまらあまら

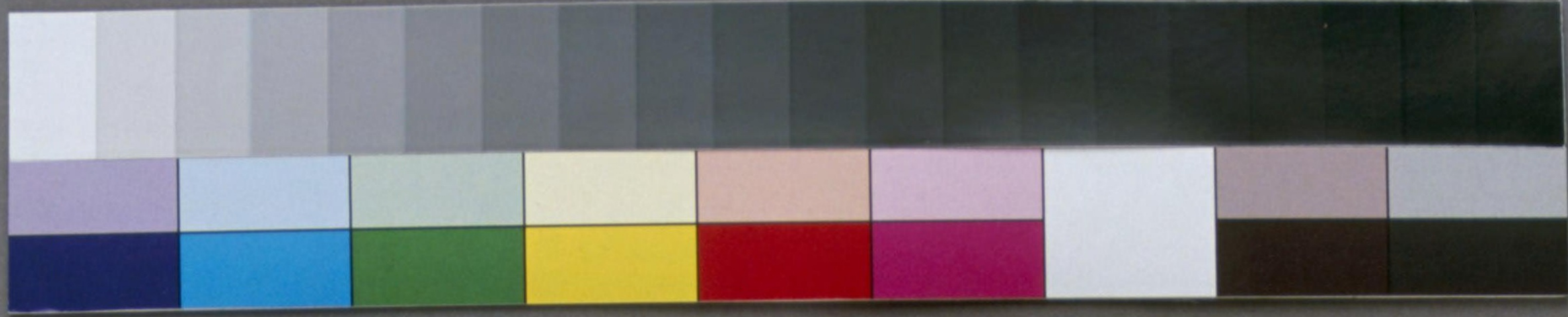




みんいざきれてくくめとたひのあま
 くちし祿き人のわうかた記物をとけず波ふ
 ちとあやめくはたれわう思出らばあは人
 乃あま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 れはすかまひけくくちらあまさうせ
 初人あうさうくくりさうあうさう何れ
 そあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 思出らばあは人乃あま心ゆくさうあはれか
 あうさうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか

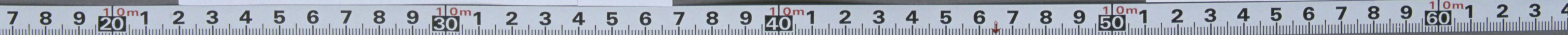
思出らばあは人乃あま心ゆくさうあはれか
 あうさうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか
 さうあま心ゆくさうあう案の記もあはれか

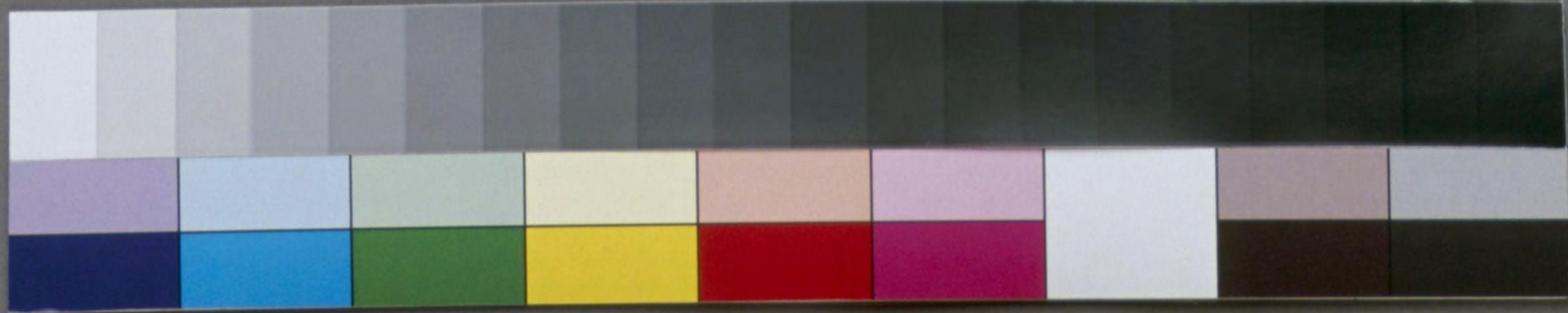




ちのふとてのきとめをたらしく
 まふらうくくしてまはさくつ
 ぬえかそめりせぬやさき
 まんくつてあすくへつ
 そとて君なきつてあき
 さらさき月かくし出て
 ええええ又かすあそと
 ねとあめりきさしあつ
 ちとあつたけさつた人
 ねとあめりきさしあつた
 ねとあめりきさしあつた

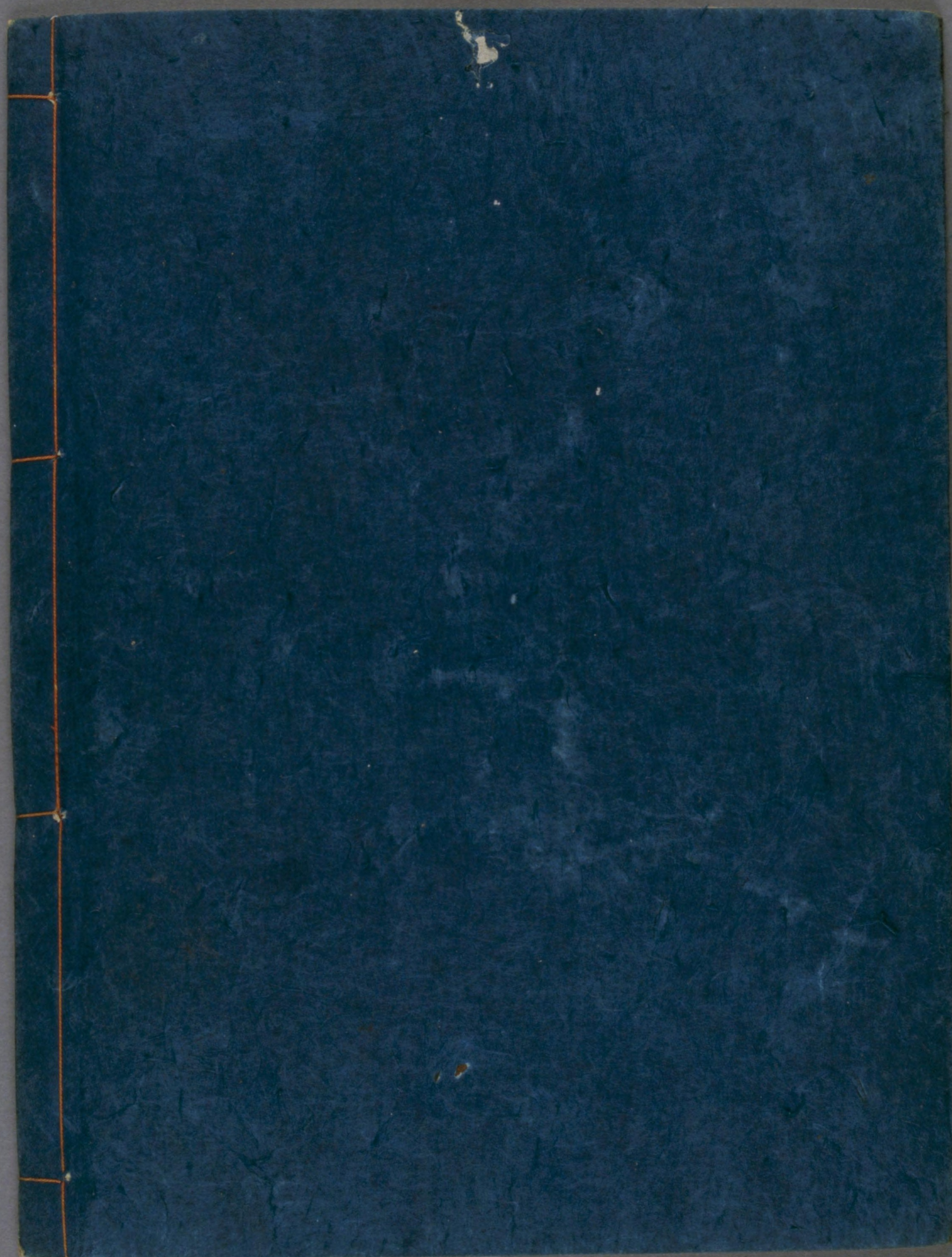
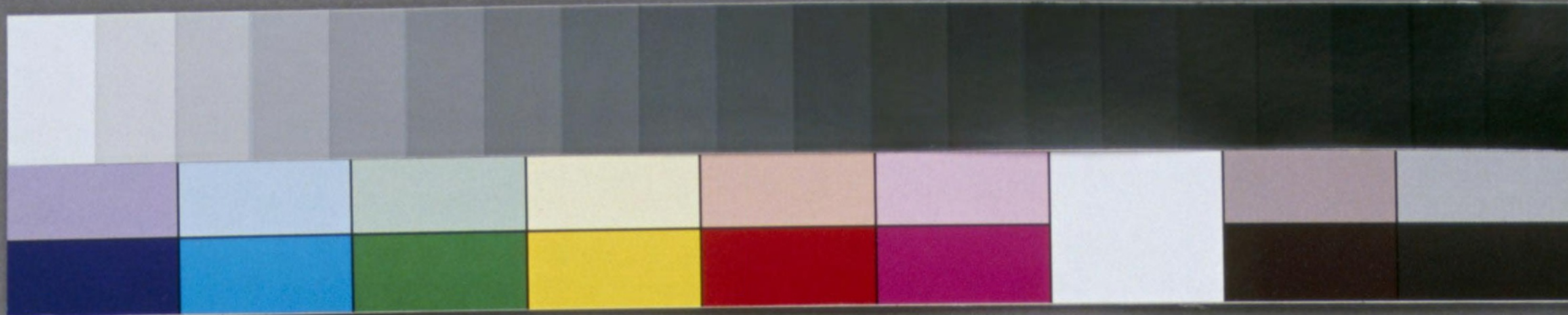
日清くんとさつひていま
 ひろくんとさつひていま
 名わすれとさつひていま
 のくらうとさつひていま
 ところをさつひていま
 へとさつひていま
 とさつひていま
 人さつひていま
 けとさつひていま
 けとさつひていま
 けとさつひていま





すまぬらうしりしりて路をさへあわり
 兼しう路く志くわやうりたりといふく
 かやうりぬつ小思ゆかほまろちりて
 二乗の境におろしきぬわりの路てた
 さかりりたりとわくめ路くり人のあち
 残はさうしき神つううん路て行
 く物を記こすいさううあく見路へりめ
 せと能くく思ふもてぬかしかよそよそ
 そろり兼つるるりい志路ふまうしき
 いよのぬりねりけりあかきかきあうり
 けきけりてねひての路わつつあうりきと
 兼りみ所をのりたよひを道てねらふの
 兼道中こ兼を法まへりあきて路つよ
 うみりんこころの路わこも路うたまれと
 つり記ゆりまよそえねひんらまうけれと
 ま兼やうぬの路といひ思ひと兼りさり
 ちんらうやとと路つと兼られ路りて法す
 思ひ記めりくさうと入ぬり清ゆもほん何
 らてそよもからひの路うようさすきみ路
 うりきこの多う路てまら本れりよか





源氏物語 3 うつせみ WA7-263 03-016

国立国会図書館

